

肌に優しいセッケン

奈良北高等学校

1.はじめに

セッケンは汚れを落としてくれるのと引き換えに、手や肌に必要な皮脂なども落としてしまったり、刺激が強くて炎症を起こしてしまったりすることがあるので、肌にとって優しいセッケンについて考えることにした。

そして肌への刺激の中でも”日焼け”に注目し、

- 1 保湿セッケン
 - 2 冷却セッケン
- の2つについて研究した。

3.結果

	泡立ち	香り	色	保湿力	その他
基本	良い	無臭	クリーム色	良い	
保湿(ラベンダー)	良い	僅かにラベンダー	クリーム色	普通	
// (オレンジ)	良い	僅かにオレンジ	クリーム色	普通	
冷却	良い	メントールの匂い	クリーム色	とても良い	ひんやりした

2.実験方法

基本セッケン

- ①オイルとステアリン酸を弱火にかけながらなじむように混ぜ合わせる。
- ②苛性ソーダ、オイルともに40～50℃に2つを混ぜ合わせる。
- ③型に入れ1～2週間寝かせて完成。

保湿セッケン

基本セッケンで使用したオイルのうち1つを

*インフューズドオイルに替える。

基本セッケンの作り方②の操作後にアロエジェルを加える。

冷却セッケン

基本セッケンの作り方②の操作後にアロエジェル、メントールを加える。

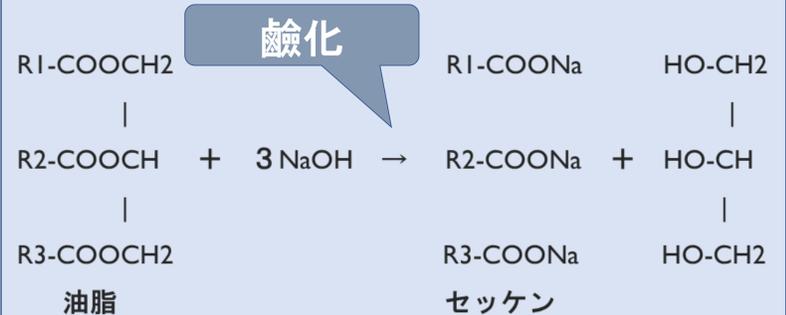
*インフューズドオイル

ハーブや乾燥した草花を植物性オイルに漬け込み、抽出させたもの。ハーブやオイルの種類によって様々な効能が期待できる。

4.セッケンについて

そもそもセッケンとは

エステル(油脂を用いられることが多い)を塩基で加水分解した際、起こる鹼化によって作られる脂肪酸のナトリウム塩のこと。



5.考察

・保湿セッケンに保湿感はなかった。

→オイルを保湿力のあるラベンダーを使用したインフューズドオイルに替えただけでは、効果が間接的すぎた。さらに、基本セッケンは保湿力を感じたのでオリーブオイルには保湿効果があると考えられる。

・メントールセッケンは香りにミントのような爽快感があり、使用感も表面がスースーする感覚があったので、熱を持った状態の日焼け後はもっと効果を感じ取れると思われる。

・どのセッケンもある程度の保湿力があつた。

→塩析を今回は行わなかったため鹼化したときにできたグリセリンが残っていたと考えられる。

参考文献

手作りの化粧品と石けん
福田みずえ 監修
成美堂出版